

滋賀県 緩和ケアチーム研修会

都道府県指導者養成研修（緩和ケアチーム研修企画）2017年2月25～26日

滋賀県立総合病院	緩和ケア認定看護師	辻森弘容
滋賀県立総合病院	緩和薬物療法認定薬剤師	美濃部奈都
滋賀県立総合病院	緩和ケア部会会長	花木宏治
滋賀県立総合病院	精神科科長	伴敏信

都道府県指導者養成研修（緩和ケアチーム研修企画）2019年9月14～15日

滋賀県緩和ケアチーム研修会 ワーキンググループ 2019年9月7日・10月13日

滋賀医科大学医学部附属病院	精神科医師	森田幸代
大津赤十字病院	薬剤師	森島史佳
彦根市立病院	緩和ケア認定看護師	秋宗美紀
市立長浜病院	緩和ケア認定看護師	宮崎恵子

滋賀県立総合病院 緩和ケア認定看護師 富永千鶴

滋賀県立総合病院 緩和ケアチーム研修会WG長 伴敏信

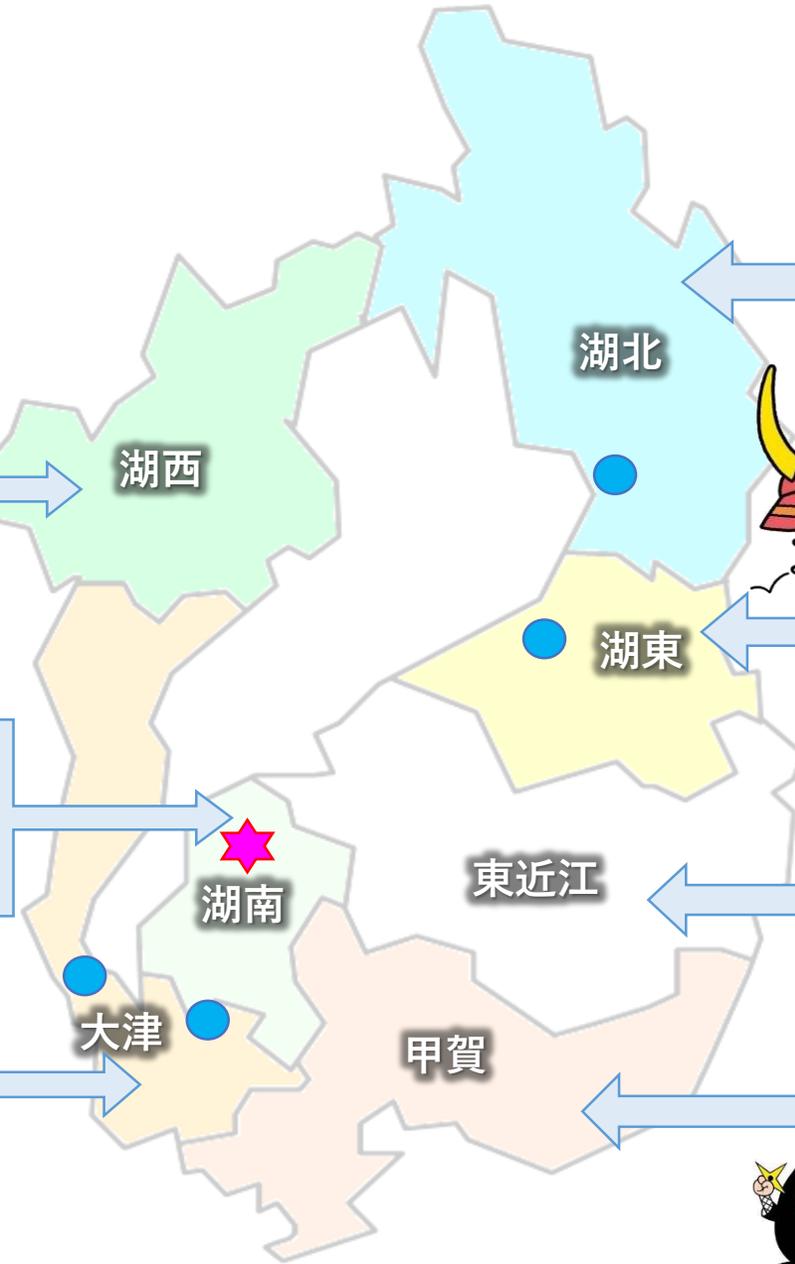
滋賀県の特徴

総人口141万
高齢化率26.0%

▶湖西：
高齢化率35.4%

▶湖南：滋賀県立総合病院
核家族や他府県からの移住が多い
高齢化率21.7%

▶大津：滋賀医科大学付属病院
大津赤十字病院
京阪神への通勤圏内



▶湖北：市立長浜病院
家族制度が残っている
在宅看取り率高い
(米原地区全国2位)

▶湖東：彦根市立病院
地域との医療連携体制が構築
高齢化率30%以上の地域が
2町存在

▶東近江：
近江商人発祥の地
療養病院が多い

▶甲賀：
工業地帯で外国人の移住が多い



緩和ケア関連 ～顔の見える関係～

- ★ 都道府県がん診療連携拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域がん診療病院
- ▲ 滋賀県がん診療連携支援病院
- 緩和ケア病棟→拠点病院に2 他3施設 計96床

- ・ 緩和ケア推進部会 年3回
- ・ 緩和ケア研修会開催の協力体制
- ・ 緩和ケアチーム意見交換会（2015～16年）
- ・ 緩和ケア病棟意見交換会（2015年～）
- ・ 滋賀緩和ケア研究会（～2012年）
- ・ 滋賀県緩和ケアCN会主催勉強会開催（2009～12年）
- ・ ELNEC-Jコアカリキュラム開催（2012年～）



緩和ケア提供施設はびわ湖の南側に集中

滋賀県緩和ケアチーム研修会

1. 2017年2月に当院緩和ケアチーム4名（身体・精神医師、看護師、薬剤師）で『地域における緩和ケアチーム研修企画・実施にかかる指導者育成研修』に参加
2. 県内の緩和ケアの現状・課題を知り、考え、それを共有し、どのようなことが今後継続してできるか、チーム員皆で考えた

➡滋賀県緩和ケアチーム研修会

滋賀県緩和ケアチーム研修会

～開催目的～

1. 県内緩和ケア提供体制を踏まえ、各地域において緩和ケアがより普及し、より緩和ケアの質が向上すること
2. 地域の緩和ケアの中心であるがん診療連携拠点病院の緩和ケアチームの質が向上し、またチームの活動性が向上すること
3. チーム研修会の定期的開催により、各チームの交流、目標の共有、学び合いが進むこと
4. 効果的な緩和ケア推進のためには行政との連携が必要であること

滋賀県緩和ケアチーム研修会 ～研修テーマ～

1. 顔の見える場の提供
2. 互いに学びあえる関係性の構築
3. 拠点病院緩和ケアチームが目指すべき方向性の共有
4. PDCAサイクルを用いる土壌作り

第1回
滋賀県緩和ケアチーム研修会

2017年9月9日

滋賀県立成人病センター

第1回滋賀県緩和ケアチーム研修会

～研修目標～

1. チームの問題点を明らかにし、解決策をみんなで考える
(PDCAサイクルにのせる)
2. 互いの顔を知り、チーム内、チーム間の情報を共有できる
3. チームのスキルの均霑化
4. チーム間の協力体制の強化

第1回滋賀県緩和ケアチーム研修会

～2017年9月9日 滋賀県立成人病センター 新館4階講堂～

▶研修プログラム

1. 研修会目的・目標提示
2. 緩和ケア領域の行政計画
3. 緩和ケアチームの機能と役割
4. 昼食（職種別交流）
5. PDCAサイクルについて
6. 自施設課題の抽出・解決策検討
7. ワールドカフェ（自施設の課題）
8. まとめ発表・意見交換



第3期滋賀県がん対策推進計画

具体的施策

① 緩和ケア提供体制

- ◇ がんの指定病院は、がんと診断したときから適切に緩和ケアの情報提供が出来るように体制を強化します。
- ◇ がんの指定病院の緩和ケアチームは、主治医と連携して適切に早期から関わります。
- ◇ 拠点病院は、緩和ケアセンターの機能の推進を図ります。緩和ケアセンターがない拠点病院は、既存の管理部門を活用し、国が検討する評価体制による緩和ケアの質の評価、改善に努める院内体制を整備します。
- ◇ がんの指定病院は、緩和ケアの質の評価を行い、評価結果に基づいて改善します。
- ◇ がんの指定病院は、国が実施する予定の、患者の痛みやつらさの訴えを引き出すための研修を受講するよう努めます。
- ◇ がん診療連携協議会は、緩和ケアの県統一の地域連携クリティカルパスの運用を図ります。
- ◇ がん診療連携拠点病院を中心に、緩和ケアチーム研修会を開催して、緩和ケアチームの活動の質の向上を図ります。

第2回
滋賀県緩和ケアチーム研修会

2018年9月8日

滋賀県立総合病院

第2回滋賀県緩和ケアチーム研修会

～研修目標～

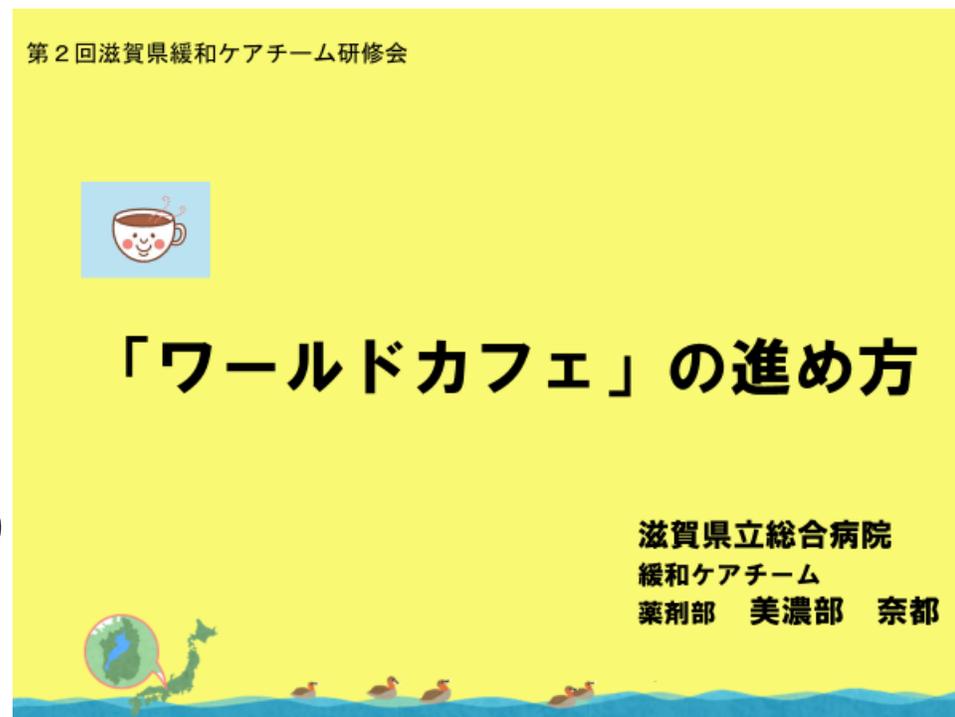
1. 各病院・各地域におけるPCTの役割を理解しつつ、緩和ケアを提供できる
2. 互いのチーム活動状況・課題や解決策を共有し、自施設内の課題を独自でPDCAサイクルを利用し解決できる

第2回滋賀県緩和ケアチーム研修会

～2018年9月8日 滋賀県立総合病院 新館4階講堂～

➤研修プログラム

1. 研修会目標提示
2. 緩和ケア領域の行政計画
3. 各チームのPDCA発表/新規施設紹介
4. 自施設の課題の解決策の検討
5. 昼食（職種別交流）
6. ワールドカフェでの交流（課題・解決策）
7. 解決策再検討
8. まとめ発表・意見交換



第3回
滋賀県緩和ケアチーム研修会

2019年9月7日

市立長浜病院

第3回滋賀県緩和ケアチーム研修会

～研修目標～

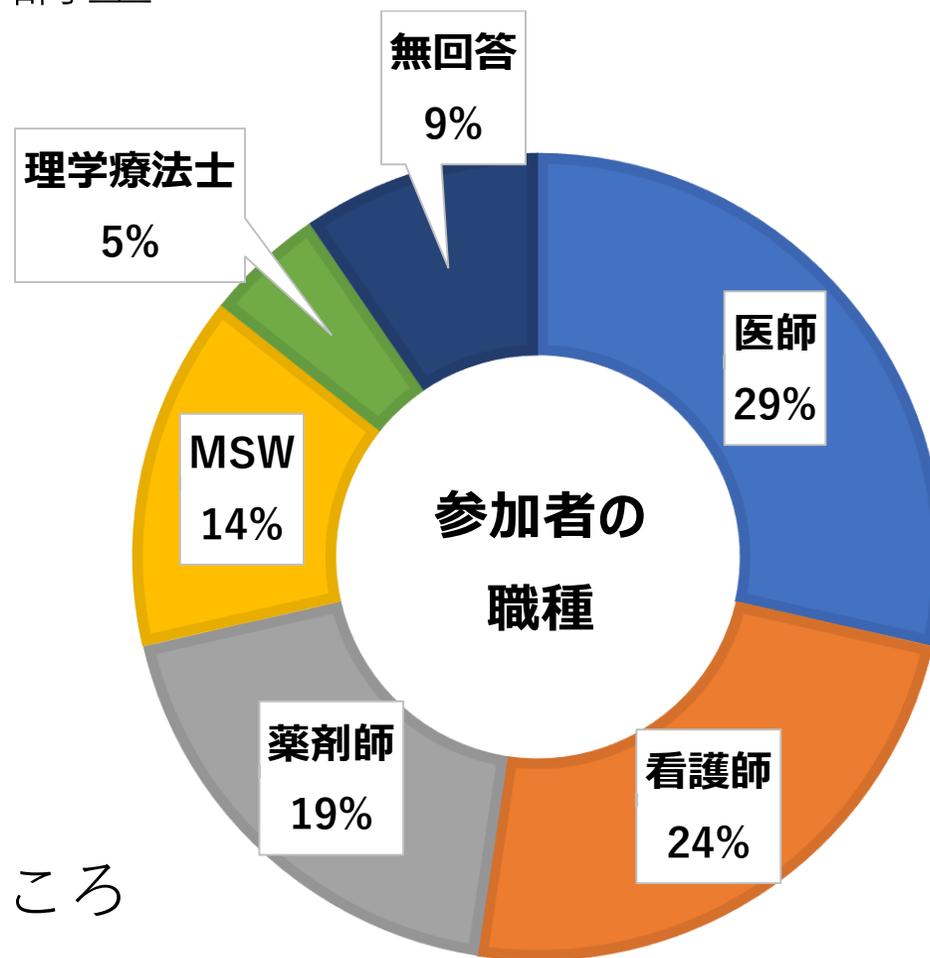
1. 困難症例を通じて、客観的に自施設PCTの役割を認識できる
2. チーム活動状況・課題を共有し、解決策をPCTメンバーでPDCAサイクルを用いて検討できる
3. （各PCTがどのように地域と協働すべきか検討できる）

第3回滋賀県緩和ケアチーム研修会

～2019年9月7日 市立長浜病院 2階講堂～

➤研修プログラム

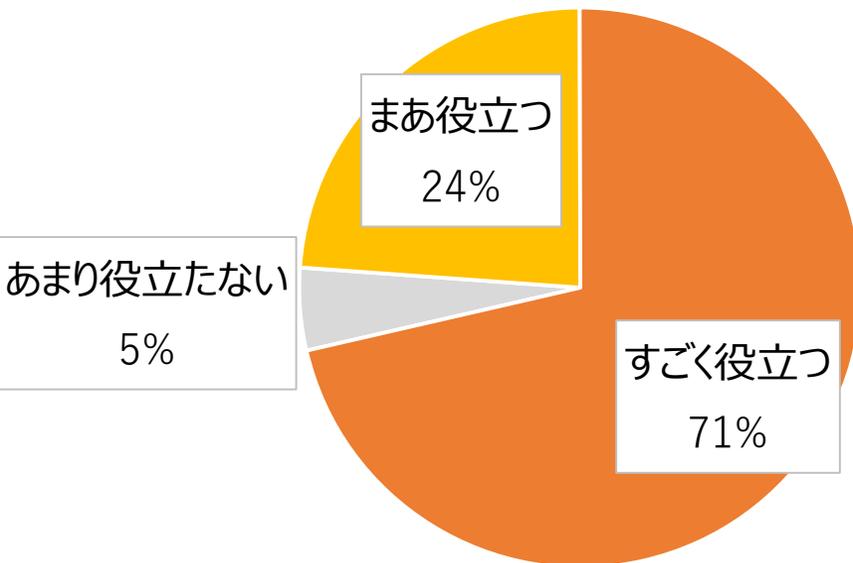
1. 研修会目的・目標提示
2. 各チームのPDCA発表
3. 症例検討
4. 症例検討から見える自施設の課題
5. 昼食（職種別交流）
6. ワールドカフェでの交流
7. まとめ発表・意見交換
8. 行政からみた緩和ケアの目指すべきところ



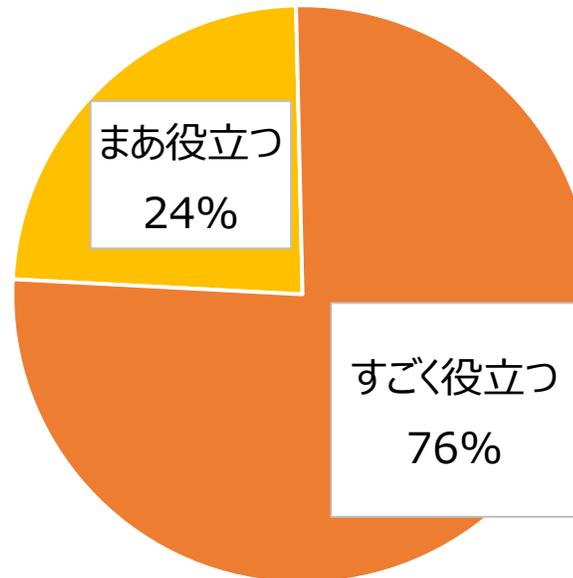
第3回研修会事後アンケート（無記名）

～研修会参加21名 回収21名～

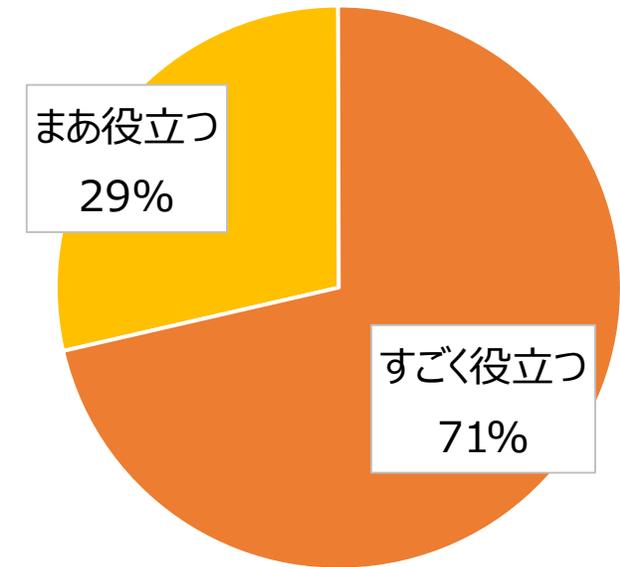
1. 困難事例検討



2. 解決策発表



3. 研修会全体



都道府県指導者養成研修
(緩和ケアチーム研修企画)

2019年9月14～15日
国立がん研究センター
築地キャンパス

滋賀県緩和ケアの質向上のための課題

～ 『地域における緩和ケアチーム研修企画・実施にかかる指導者育成研修2019』～

滋賀県単位の取り組みで目指したいこと（ゴール）

1. がん診療連携拠点病院として：滋賀県全体の緩和ケア提供体制の底上げを目指す
 - 緩和ケアチーム研修会にて滋賀県の問題について共有したり取り組むような意識づけができるよう内容を企画
2. 既存の地域のチームと連携する
 - がん診療病院や支援病院
 - 地区保健所
 - 在宅チーム
 - 地域包括
3. 各2次医療圏域の緩和ケアに関する現状を知る
 - 各圏域で研修会開催

滋賀県緩和ケアチーム研修会 ワーキンググループ

第1回 2019年9月7日 市立長浜病院

第2回 2019年10月13日 滋賀医科大学付属病院

ワーキンググループ

滋賀県緩和ケアチーム研修会の今後の方向性

- 第3回(実施済み)・第4回～第6回PCT研修会企画（案）
 - ➡研修会を拠点病院で持ち回り開催
 - ① 開催場所：これまで研修会を開催していない拠点病院
 - ② 県内すべての拠点病院で研修会を開催することで、研修会開催目的や方法を周知徹底できる
 - ③ 事前課題：各地域の緩和ケア提供状況を情報収集し、把握する
 - ④ 研修会で、各地域の状況、課題を共有し、各地域において緩和ケア提供体制の再構築を検討する

まとめ

1. 『緩和ケアチーム研修会』の土台はトップダウン方式で創設
2. 『方向性』の共有により都道府県PCTの事業でなくなった
3. 『運営』については県全体で行うことが大切であり、アンケート結果や強い発言を取り入れ、ボトムアップ方式を採用
4. 数年先の目標を共有し、それに達成すべくPDCAに乗せる